

LIVE DEMO DAY

↳ Japanese Transcript

この文書は無償サービスとして提供され、口頭のプレゼンテーション
および免責事項を含む関連資料に基づいて確認されるものとします。

Table of Contents	Introduction	03
	Foundry	07
	Gotham	27
	Apollo	35
	Conclusion	41
	Disclaimer	43

SECTION

Introduction

SPEAKER

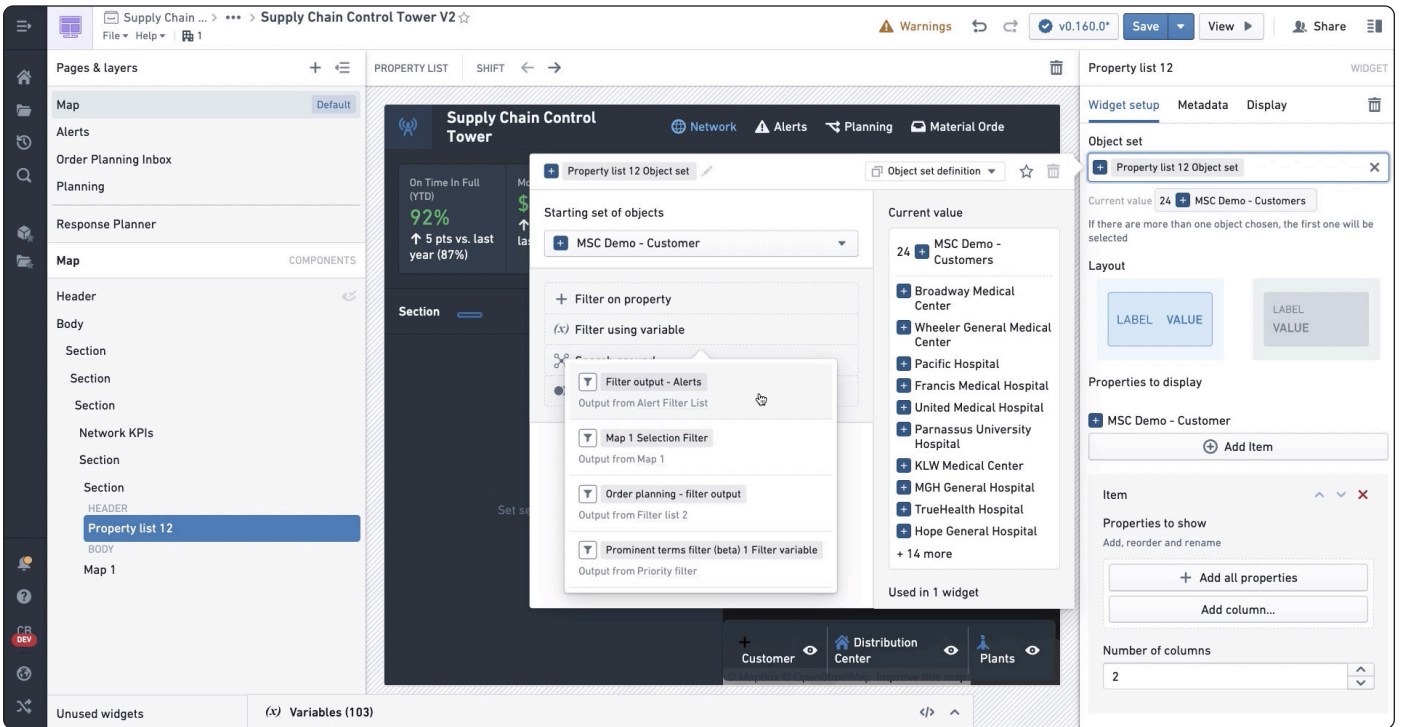
Shyam Sankar,
Chief Operating Officer

本日はパランティア初の製品紹介セッションへのご参加ありがとうございます。皆様に当社製品をご紹介できることを嬉しく思います。私はパランティアのCOO(最高執行責任者)、シャイアム・サンカーです。本日は当社製品の最新機能およびポートフォリオ全体を通じた2021年以降のロードマップをご説明するとともに、実際に当社製品が高い効果を発揮しているお客様の事例をご紹介します。今回私が最もエキサイティングに感じていることは、これらの話を当社の各製品リーダーから皆様に直接お届けできることです。これからの数四半期、パランティアの非常に厚い人材層から皆様に価値ある情報をお届けする場を設けていきたいと考えています。

本日は当社のビジネス、エンジニアリング、製品の各部門から、最適なプレゼンターを揃えています。特にFOUNDRYとGOTHAMの製品開発をリードしてきた2名を簡単にご紹介したいと思います。

まずはFOUNDRY担当のビアンカです。彼女は7年前にパランティアに入社しました。その後はフォワード デプロイメント エンジニアとして新しい分野で数社の大手顧客との取引をリードしました。そのうちの1社が取引開始から間もないエアバス社で、まだパランティアが製造現場まで浸透していない時点で、オペレーショナル ユーザーと協業してオペレーショナル ワークフローの開発に取り組んだパイオニアです。ここで大事なことは、データサイエンスとエンジニアリング、また何よりも重要なのは日々さまざまな意思決定をしている現場の人たちを、どう結びつけるかということです。ビアンカは、デジタル ツイン、さまざまなシナリオ、モデルの結合、マシンラーニング、ローコード/ノーコード アプリケーション開発、オペレーショナル システムとの深い統合など、FOUNDRYのさまざまな機能およびONTOLOGYを超える製品ポートフォリオのすべてを統括しています。新型コロナウイルスのパンデミック下でこれらの機能の多くが本領を発揮し、政府や企業の対応を支援しています。

ご紹介したいもう1人は、GOTHAMの首席プロダクト マネージャーのマーティンです。彼はGOTHAMの販促と詳細なロードマップの責任者です。5年前にフォワード デプロイメント エンジニアとして入社したマーティンは、脱税やマネーロンダリングといった金融犯罪と闘う機関の支援に注力してきました。また、GOTHAMのプレミアム オペレーショナル スイートであるGAIAの開発とユーザー エンゲージメントをリードしました。今日、分野を問わず世界中のユーザーがそれぞれのミッションの計画と実行にGAIAを活用しています。



Introduction

ここからは、私がここ数四半期にわたり言及しているいくつかのコンセプトを説明して、この後のデモとディスカッションを理解する助けになるようにしたいと考えています。私は何よりも興奮して嬉しく思っているのは、お客様が優れたリターン(アルファ値)を手にするように、当社が長年にわたり多大な投資を行ってきた結果、FOUNDRYおよびGOTHAMの両方について、製品をアップグレードすることがお客様のビジネスのアップグレードにつながるということを実感できるようになったことです。GOTHAMをアップグレードすれば、兵器システムもアップグレードされます。FOUNDRYをアップグレードすれば、お客様の会社がアップグレードされます。これは、お客様の会社をコネクต์することによって実現されます。すなわち戦略とオペレーションを即座に結び付けるために不可欠な環境を提供することで実現します。これは非常に強いパワーであり、当社が15年間にわたり優れたリターンの実現に集中して取り組んできた成果です。優れたベータ値の創出で足を止めることなく、またお客様の効率を高めるだけで満足してこなかった結果です。パランティアは、現実としてお客様の競争力を高めています。パランティアがアップデートを提供するたびに、リリースを提供するたびに、お客様の競争力はますます高まっているのです。

デモを始める前に、まずは私たちが製品をどのように考え、何を達成しようとしているのかという大原則をご理解いただければと思います。パランティアは、プラットフォームをモダンエンタープライズのオペレーティングシステムであると考えています。パランティアにとって「オペレーティング」という言葉は、重要な意味を持っています。当社が提供しているのは単なるデータプラットフォームではありません。アナリティクスでもありません。私たちは、お客様がより賢く(SMART)なるだけでなく、より良い(BETTER)組織になることを目指しています。アナリティクスはインサイト(知見)を提供してくれますが、これらのインサイトをどうすれば意思決定に活かせるのか?また、それらの意思決定をどうすれば優れたリターンにつなげることができるのか?

実際に、最前線のさまざまな部分で高いリターンを実現しています。製造現場、アセンブリライン、さらには戦場までパランティアは、「コネクテッド」な組織すなわち企業や部門、機関などがつながった環境を構築してサポートすることで、これを実現します。

私たちは、「エンタープライズ」とはその企業内におけるあらゆる意思決定が集約した結果であると考えています。非常に複雑で、常に変化している環境の中で、これらの意思決定はそれぞれが独立しています。しかしこのような環境に合わせた体制作りをしている企業はほとんどなく、またこのような構造に合わせた運営をしている企業もほとんどありません。パランティアのソリューションは、このように横のつながりがない多様な意思決定の「サイロ」をつなぐ機能を提供し、予想外のでき事をチャンスに変え、チャンスをリターンすなわち利益に変えます。

Introduction

その結果、市場に出回っているほとんどのソフトウェア製品がお客さまを競合他社と似たような環境にするのに対し、パランティアのソリューションはお客様と他社の差別化を促進します。そう、パランティアはお客様の差別化を促進します。その成果は目に見える形で確認できます。パランティアのSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATION (ソフトウェア定義データ統合) はベータを自動化し、ONTOLOGYによりわずか数時間でアルファ値を生成します。また、サプライチェーン上の予期せぬ出来事も、デジタル ツインでシミュレーションを行い、管理することができます。

この数四半期にわたりパランティアが最も注力している投資分野、それはGOTHAMとFOUNDRYの両方のモジュール化です。なぜモジュール化がそこまで重要なのかをご理解いただくためには、パランティアの歴史を少し巻き戻し、アプローチを振り返る必要があります。ご存知のように、パランティアはエンドツーエンドのソリューションを提供していますが、通常のコンピューティングを超えてあらゆる問題を解決する方法について、パランティアには持論があります。これは、かなり広い範囲を包括しています。

これらの持論は実際の現場体験から培われたものです。パランティアは確固とした責任感を背景に、さまざまな問題をエンドツーエンドに解決してきましたが、これらの経験のお陰で従来の理解、すなわちリファレンス アーキテクチャのどこが間違っているのか、または単に壊れているだけなのかを理解できるようになりました。このようにして蓄えた知識を長年にわたりプラットフォームに取り込んできた結果が、他社とは大きく一線を画すパワフルなエンドツーエンドのソリューションです。このようにして生まれたソリューションは、危機的状況で真価を発揮してきました。例えば現在のパンデミックにおいて、わずか数日間で導入して非常に複雑な問題を解決できる卓越した能力から、パランティアのソリューションは最初の3週間で80件以上の新規契約につながりました。もちろん、このような実績は一朝一夕に実現したものではありません。15年にわたる研究開発、また15年にわたり現場から学んだ知見を製品に反映させた結果です。過去、そして現在も、パランティアは「時間との勝負」が問われる問題を解消できる唯一のソリューションであると確信しています。

Introduction

しかしこれは、パランティアが提供するエンドツーエンドのプラットフォーム全体を導入しなければならないことを意味しました。これは、たとえお客様がこれまでに投資して活用しているシステムがある場合や、自社のビジネスに不可欠な社内開発システムがある場合でも変わりません。このような背景から、モジュール化への投資に注力してきたことで、お客様は現在お使いの環境とパランティアソリューションの両方を最大活用することが可能になりました。お客様はFOUNDRYやGOTHAMの必要なコンポーネントだけを導入して、現在お使いの環境とともに活用することができます。このように「両方の環境の最良の部分」を利用できることは、大変重要です。これはお客様にとって最適なFOUNDRYのコンポーネントを活用する柔軟性を提供するだけでなく、高度に差別化され、広く知られている、パランティアソリューションのスピードと独自性といったメリットもお客様に提供します。逆に当社の視点から見ると、これによって市場展開においてこれまでとはまったく違う新しい可能性が広がります。このようなモジュール化は、パランティアがチャネルパートナーの皆様の要件へ適応できること、またお客様のニーズを満たす製品を提供できることを意味します。

SECTION

Foundry Demo

SPEAKER

John DiFulvio,
Business
Development Lead

本日は、FOUNDRY 21のリリースの一部として、当社ソリューションのハイライトをご紹介できることを嬉しく思います。パランティアが提供する、モジュール式で相互運用できるソリューションスイートによって、柔軟性に欠けるソフトウェア、連携のない機能といった環境を変革することができます。

まずは、FOUNDRY ONTOLOGY（オントロジー）とSIMULATION ENGINE（シミュレーション エンジン）をご紹介します。これらのソリューションによってコネクテッド カンパニーを構築して、データとモデルを基盤に自社ビジネスへの理解を深め、最適な意思決定を行うことが可能になります。

次に、パランティアのソリューションによってお客様がどのように短期間で大きな成果を実現しているのかをご紹介します。当社のSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATIONとユースケース カタログによって、これまでのやり方は数か月、数年を要していたことも、ほんの数時間で実行することができます。

Foundry Demo

それでは、簡単な質問から始めましょう。「FOUNDRYとは何か?」ということです。FOUNDRYは最高クラスのデータ統合／管理プラットフォーム、分析ツールの総合的なスイート、アプリケーションの運用プラットフォームをビジネスユーザーに提供します。ただし、本質的な部分においてFOUNDRYは、あらゆる組織にとっての中央意思決定支援基盤であると考えられます。パランティアが構築したソフトウェアフレームワークはデータとモデルを知識に変え、ユーザーはこれらの知識を質の高い意思決定に活用することができます。この後FOUNDRY ONTOLOGYとSIMULATION ENGINEのデモをご覧くださいますが、これらのテクノロジーは現実世界における実際の意思決定とデジタルの世界を結び付ける結合組織としての役割を果たします。

大規模なサプライチェーンを例に考えてみましょう。FOUNDRYを構築する中で、私たちはどのような組織でも常にデータ量は増え続け、膨大なエントロピー（情報量）を生み出していることがわかりました。例えば1件のサプライチェーンプロジェクトを考えた場合、1つのERPシステムからだけでも数千のテーブルを取り込む必要があるでしょう。これに業務や顧客需要、会計といった他のシステムからのデータが加わることを考えれば、たとえすべてのデータを1か所で管理したとしても、これらの膨大なデータを理解したり何かを見つけたりすることは非常に難しいということは容易に想像がつくと思います。これこそ、多くの企業が長年にわたりデータプロジェクトに取り組んでいるにも関わらず明確な成果を得られない理由です。このような背景から、私たちは従来とは異なるアプローチが必要であると早い段階で判断しました。

この課題に対するパランティアならではの独自のソリューション、それがPALANTIR FOUNDRYのONTOLOGYとSIMULATION ENGINEです。これらのテクノロジーによって、詳細レベルのガバナンスとセキュリティを実現しながら、個々の組織に合わせて最適化した、誰でも理解できる共有フレームワークにすべてのデータを取り込むことができます。ここで言う「ONTOLOGY」とは組織自体を表すデジタルツインで、検索および分析からサプライチェーン最適化といった運用アプリケーションまで、下流のすべてのワークフローに共通のインターフェイスを提供します。また、ONTOLOGYは組織のデジタル資産と現実世界のオペレーションを結ぶ双方向インターフェイスとしての役割も果たし、企業内の各部門はそれぞれ独自の知見を提供し、社内全体の共通理解として共有することができます。

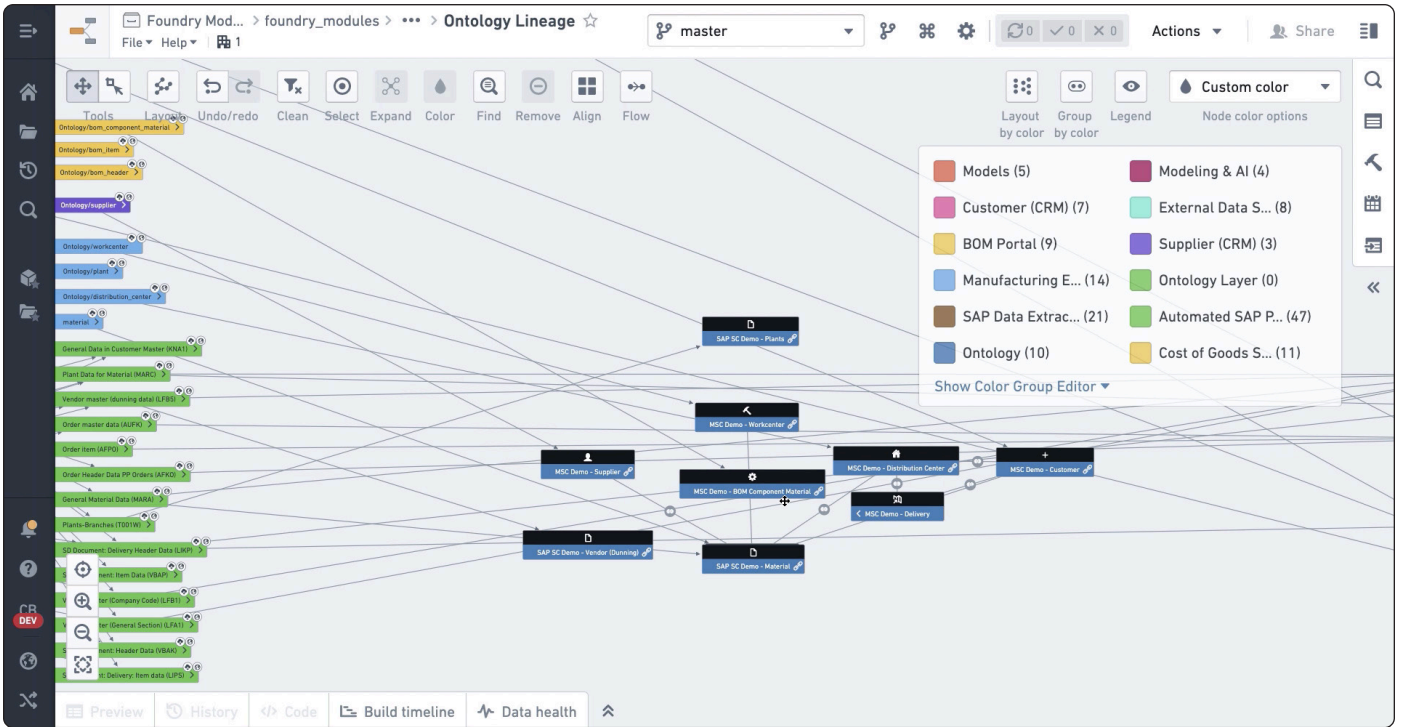
Foundry Demo

最初の例として、製造プラントを対象に説明しましょう。プラント全体を網羅した360度の視点を確立するために、私たちは製造工程からのセンサー データや物流センターからのロジスティクス データ、ERPシステムからの財務データなど大量のデータを統合して、「プラント」オブジェクトを作成しました。より幅広いユースケースをサポートできるように常にデータを統合していく中で、ONTOLOGYも成長していきました。さらに、プラントに物流センターや顧客、原材料といった他のエンティティ(実体)をリンクさせました。これらのエンティティにも、多くのデータソースが結び付いています。

このようなデータの統合とマッピングの結果、ビジネス オブジェクトとしての「プラント」への可視性が確立され、組織全体のユーザーが利用できるようになりました。サプライチェーン マネージャーやロジスティクス 責任者、プラント マネージャーは、「プラント」オブジェクトに統合されているすべてのデータにアクセスできます。また、個々のプラントについて適切なKPIをチェックすることで、迅速に顧客と物流センターの状況を都市別に把握できるだけでなく、需要のアラートを検知することや、時間の経過に伴う需要と製造状況の変化を知ることができます。

ここで重要なのは、このONTOLOGYが動的で、時間の経過に伴い変化するということです。より多くの組織がデジタルトランスフォーメーション(DX)に組み込まれて変化していくのに伴い、ONTOLOGYの幅も広がっていきます。既存のERPシステムや柔軟性に欠けるデータ モデルでは、このように避けることのできない変化に対応することができません。

ONTOLOGYの対象は360度の統合ビューの範囲のみにとどまらず、検索や分析、レポート、アプリケーションなどを通じて、あらゆる意思決定の基盤になります。このアプローチが画期的であることには、いくつかの理由があります。このアプローチでは、新しいプロジェクトのたびにデータ基盤を再構築する必要なしに、新しいデータをビジネス アプリケーションへ自動で取り込む複合的なフレームワークを確立できます。これによって新しいワークフローを構築する時間が不要になるだけでなく、部門を横断して共通の言葉でコラボレーションできる環境を提供します。最もエキサイティングなのは、このフレームワークが双方向であるという点です。すべての知見と意思決定はONTOLOGYに記録され、データとしてすぐに利用可能になるので、他のユーザーはアクセスして役立てることができます。これにより、卓越した部門間コラボレーションが実現します。例えば、あるサプライチェーン アナリストが特定の原材料に超過在庫があり、有効期限が数か月に迫っていることを発見した場合、これを機会として顧客担当マネージャーに通知することで、この原材料を使用した最終製品の潜在的な販売機会につなげることができます。



New exploration x Plant Argon x New exploration

Hold alt while scrolling to zoom in or out

Plant Argon ☆ MSC Demo - Plant

Overview Distribution Network Properties

View all...

Plant Schematic

Risk Factors 3 results

- Open Workorders - 1_024593_1 MSC Demo - Alert
- Business Interruption - Covid 19-Plant-1 MSC Demo - Alert
- Business Interruption - Flood-Plant-1 MSC Demo - Alert

Materials Produced at Plant 3 results

- Respirator Mask MSC Demo - Material
- Surgical Mask MSC Demo - Material
- Ventilator MSC Demo - Material

Inventory Alerts

EVENTS TIMELINE GRAPH

Event

EVENTS TIMELINE LIST

Jan 1, 2021 1:00 PM Uptick in customer demand compared to expected timeline, production alert - MSC Demo - Event

Showing 2 events

Foundry Demo

それでは、どのようにONTOLOGYを使ってオペレーショナル アプリケーションを構築するのかを見てみましょう。これがSUPPLY CHAIN CONTROL TOWER (サプライチェーン コントロールタワー) です。サプライチェーン アナリストはこのアプリケーションを使ってネットワークとKPIの概要を確認し、気になる部分をさらに詳細にチェックできます。これらのデータはすべて世界各国の異種ソースからのもので、以前であれば連携のない複数のソフトウェアが必要でした。このマップには顧客、物流センター、プラントが記載されています。それでは、ONTOLOGYによって、このように複雑なアプリケーションをコーディングなしでどのように簡単に構築して管理できるのかを、「編集」モードで見てみましょう。

この顧客のより詳細なビューをすぐに見たい場合、特に難しいことはありません。まず、顧客について知っているすべての情報を簡単に追加できます。このマップで左にウィジェットを追加して、全顧客のプロパティを表示します。ONTOLOGYで対象の顧客オブジェクトを検索して、すべてのプロパティを追加できます。次に、リンクしている物流センターについて、下部のウィジェットの情報を追加できます。プロパティではなくオブジェクト リストを追加しますが、これにはすでに作成したONTOLOGYのオブジェクト間の全マッピングが必要です。

このように、1分足らずで数十のデータソースからのデータをこのビューに追加できました。これで、意思決定の能力が大きく高まります。ここで重要なのは、これらのアプリケーションが実際のアクションに直結しているとともに、これによって複雑なマルチステップの部門間ビジネス プロセスが作られることです。

例えば、サプライチェーン アナリストが需要のギャップや超過在庫、その他の問題を発見した場合、注文へ部分的に対応したり在庫の一部を再割当てしたりすることで、問題に即応できます。この対応に基づいて、物流センターのスタッフは新しい情報を確認して、適切に対応することができます。

表面的にはかなりシンプルなプロセスに見えますが、実際にはその背後で非常にパワフルなアクションが行われています。すべてのアクションはユーザーによる意思決定が反映された結果で、すべてが共有ONTOLOGYにライトバックされます。例えば「注文処理」アクションによって「在庫」オブジェクトから品目が差し引かれ、これらの品目が対象の注文に追加され、注文のステータスが「未処理」から「処理済」に変化します。アクションには複雑な検証条件やセキュリティ条件も設定でき、マルチステップ式のビジネス プロセスを作成する際のパワフルな構成要素となります。

Foundry Demo

これは、たとえユーザーがFOUNDRYにログインしていなくても実行できます。アプリケーションで実行されたアクションはレガシー システムに直接ライトバックでき、電子メールなどのビジネス システムだけでなく機械制御システムと通信することもできるので、既存のビジネス環境へシームレスにアプリケーションを統合することができます。この同じレイヤー (層) がサポートするのはオペレーショナルアプリケーションだけでなく、高度な検索機能およびパワフルな分析/レポートングツールもサポートします。

ここまでは主としてデータおよびデータをどのようにONTOLOGYにマッピングして組織の動的なモデルを構築し、下流の意思決定能力を強化するののかという部分に焦点を当てて話を進めてきました。さらに質の高い意思決定を実現するためには、データだけでは不十分です。通常、意思決定者は意思決定を行う前に、その決定がどのような影響を与えるのかを知るためのモデルを必要とします。これらのモデルは、ディープラーニングや人工知能といった複雑なものから、しばしば経営層が使用する基準を遵守するといったシンプルなロジックまでさまざまです。

ここでもFOUNDRY’のONTOLOGYは結合組織として機能します。このONTOLOGYにモデルをマッピングすることで、私たちはシステム全体を網羅したSIMULATION ENGINEを構築しました。このエンジンによって、以前であれば不可能であった「WHAT-IF」分析を実行することが可能になります。戦略策定から業務に至るまで、社内のすべてのレベルのユーザーが、意思決定をする前にその決定によって考えられる結果と副作用を知ることができます。これによって非常にパワフルな基盤が確立され、オペレーションをコードのように扱うことができます。変更がある場合も、実際に適用する前にステージングおよびテストできます。

例えばSUPPLY CHAIN CONTROL TOWERでは、製造モデルと価格モデルは原材料およびプラント能力のデータを活用します。これによって、価格の変化に基づく製造量と顧客需要の見積を算出します。このタイプのモデルは、例えばサプライチェーン マネージャーが、指定の品質調整を行った製品を原材料からどれくらい製造するのかを判断する際などに使用します。次に、このモデルを例えば季節的需要モデルと結び付けることで、製品カタログを動的に最適化して、売上増加につなげることができます。

Foundry Demo

サプライチェーンにおける「原因と結果」を把握することの難しさは広く知られています。何らかの障害が発生した場合や単に現状の変化により自動化が止まってしまった場合、状況に適応することには大きな困難が伴います。結果として起こる納期の遅れや販売機会の逸失、超過在庫の発生などは、よくあることです。

FOUNDRYでは、各モデルのソースに関係なく、全てのモデルが1つの統合フレームワークで管理されます。例えば、これはこの組織の全モデルのライブラリです。例えば製造の最大化やCOGSモデルによる原価の最小化、物流センターからの在庫の入出庫のバランス調整といったビジネスの最終的な目標によって各モデルが緊密に結び付いていて、製造に使われているかどうかを簡単に確認できます。

カタログでは、スクロールしてさまざまなモデルの中から季節的需要モデルと製造モデルを簡単に見つけることができます。現在アクティブな数やモデルの状態など、さまざまな情報を確認できます。さらに重要なことは、すべてのモデルのインプット／アウトプットが現実世界の対象にマッピングされ、結び付けられるという点です。例えば顧客需要モデルの上にカーソルを置くと、このインプットには「原材料注文」と「材料」オブジェクトが結び付いていて、アウトプットには「原材料注文」、「プラント」、「材料」オブジェクトが結び付いていることが分かります。

このモデルをクリックすると、トップに予測目標としてプロジェクトの状況が表示されるだけでなく、このモデルのインプットとアウトプットが現実世界とどのようにマッピングされているのかを確認できます。ここでは、インプットの具体的なプロパティとして「原価」と「価格」、アウトプットでは「需要」、「能力」、「在庫」を確認できます。

またモデルのパフォーマンスのモニタリング、時間の経過に伴うこのモデルへの変更の管理、アプリケーション層へのモデルの展開方法を管理できます。このソリューションが最も高い価値を発揮するのは個々のモデルを管理する能力ではなく、SIMULATION ENGINEを通じてモデル自体が相互に関連付け合うことができる部分です。これも、ONTOLOGYが基盤になっています。

それでは次のモデルに移りましょう。このモデルには、すべての原材料を最終製品に変えるための製造手順が含まれています。このように、これらのモデルのインプットの1つ「材料在庫」が、先ほどのモデルのアウトプットに一致していることが分かります。これは、これらのモデルを結び付けられることを意味します。

Foundry Demo

結び付いているモデルの詳細は、シミュレーション インターフェイスのVERTEXで確認できます。季節的需要モデルと製造モデルの両方について、複雑なバリューチェーンの全体像を見ることができるとともに、例えば「サプライヤーからの原材料の供給が半分だけになった場合、最終製品の納期への影響は？最も大きな影響を受ける顧客は？」といった質問をすることができます。

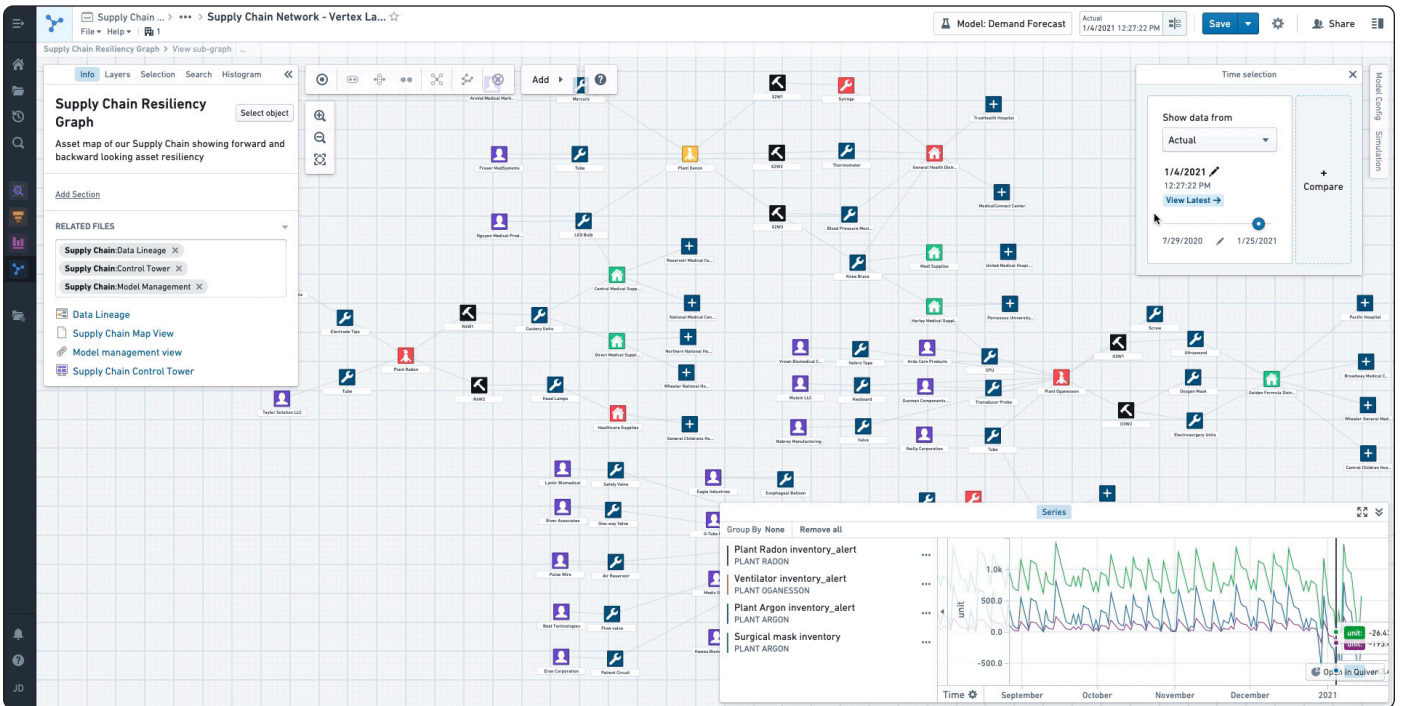
現実世界とのマッピングを通じて各モデルがチェーンのように結び付けられるので、上流のサプライヤーから下流の顧客まで、その間のプラントや物流センターなどのすべてを含め、サプライチェーン全体を簡単に理解、把握できます。結果としてすべてのユーザーが自分の意思決定がもたらす影響を理解、予測できるようになり、かつてないコラボレーションと最適な意思決定が可能になります。スライダーを動かすと、すべてのモデル間のやり取りとサプライチェーンへの今後の影響をシミュレーションして確認できます。マップ上でいくつかのノード、プラントと物流センターが赤くなっていますが、これは在庫不足や予定外の需要の増加など、サプライチェーン上の潜在的な問題に対するアラートです。

これは詳細なシステムビューですが、このSIMULATION ENGINEはどのようなアプリケーションにも実装でき、社内のすべてのレベルで意思決定を支援する情報を提供できます。ここで、ちょっとSUPPLY CHAIN CONTROL TOWERに戻しましょう。考えられる対処のシミュレーションをユーザーが行えるように、アラート対応ワークフローを調整しました。ここでは、予定外の原材料超過が発生しています。概要を確認したら、プランニングレスポンスのタブをクリックします。

ここでは原材料の超過在庫、予定済みの需要、製造能力のパーセントを確認できます。これらのデータに基づいて、例えば最終製品の価格を変えたらどのような結果になるのかなど。

製品計画や価格管理といった他のアプリケーションも同じシミュレーション層をベースに簡単に処理を実行できるので、組織全体を通じて一貫した同じ条件に基づいて部門を横断したコラボレーションが可能になります。

FOUNDRYがプラットフォームの結合組織としての役割を果たすことで、COOからサプライチェーン マネージャー、シミュレーションを作成するロジスティクス アナリストまで、社内のあらゆるレベルで反復的なアクションと意思決定を効率的に実行できます。



The image shows the 'Supply Chain Control Tower' interface. At the top, there are tabs for 'Network', 'Alerts', 'Planning', and 'Material'. A 'Key Metrics' section displays: Revenue \$10,306, Cost \$0, Excess Inventory 3,181, Demand 85,882, and Capacity 95.2%. Below this, a 'Material' selection area is visible with 'Syringe' selected. A modal dialog box titled 'Apply response plan' is open, showing 'Raw Materials Orders' (Order Material 112 Xenon) and 'Finished Materials' (Thermometer, Blood Pressure Monitor, Syringe, Knee Brace). A '1 action applied' notification is visible at the bottom left.

Foundry Demo

ここまで、ONTOLOGYとSIMULATION ENGINEがいかに卓越した意思決定の支援基盤を提供するのかという部分に重点を置いて話をしてきましたが、デモの最後に、パランティアがこのテクノロジーをどのようにスケールアップしているのか、またSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATIONとユースケースカタログを通じてお客様がこのテクノロジーを簡単に活用できるようにすることで、データ、ONTOLOGY、SIMULATION ENGINEを最大活用できるようにしているのかについて説明したいと思います。

まず、お客様の環境のどこにデータがあるのかを把握して、これらのデータソースへ迅速にアクセスする方法です。PALANTIR FOUNDRYでは、ポイント&クリックによる簡単な操作でデータへのアクセス、統合、変換を実行できます。レガシーERPシステムの場合は、さらに生データを取り込んで結合し、新たな機能を持たせて下流のワークフローで活用することができます。以前であれば何年もかかっていたデータプロジェクトも、数時間で完了できます。

パランティアが、どのようにしてお客様が短期間で価値を手に入れるようにしたのか。それがSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATION (SDDI、ソフトウェア定義データ統合) です。SDDIほど短時間で価値を提供できるソフトウェアは、他に存在しません。数か月、数年をかけて複雑なバックエンドシステムを解析する必要なしに、SDDIテクノロジーはバックエンドシステムのテーブル名をユーザーが読める形式と自動的に結び付け、ユーザー定義テーブルを含むデータテーブル間の関係性を推測します。

さらに、パランティアのSDDIテクノロジーはオンラインショッピングと同じ環境を提供し、ユーザーは必要なデータをカートに入れて、同期化することができます。データの準備ができたなら「同期化」を選択すれば、後は変換層を通じてデータソースからオブジェクト(プラント、物流センター、顧客)まで、ONTOLOGYが自動的に生成されます。

本セッションのはじめに、今回のリリースからFOUNDRYとともに、導入後短期間で価値を発揮する、カスタマイズ不要ですぐに使い始められる総合的な製品が出荷されることをお伝えしましたが、これらの製品群は幅広い業種とセクションにおける15年間の経験をベースに、あらゆる環境で最大の価値を発揮できるように構築したものです。

Foundry Demo

パランティアの、まず複雑なデータ統合のような最も難しい課題を解消してから、一連のシミュレーションを連鎖させる基盤を構築し、ONTOLOGYを通じた結合組織を開発することで、この自動化機能を実現しました。お客様が直面している課題は、それぞれ異なります。銀行や電力会社、輸送会社など、同じように見える企業であっても、実際のユースケースは企業ごとに大きく異なる場合があります。パランティアは、データ統合とセットアップの複雑なプロセスを自動化するフレームワークによってお客様ごとに異なる独自性を維持することで、ソリューションと意思決定において最大限の創造性と柔軟性を実現します。

私たちは、簡素化することでソリューションのスケールアップを実現するのではなく、複雑なプロセスを自動化することにより実現しています。これによって、お客様は短期間で高い価値を引き出すことが可能になります。

2020年の新型コロナウイルスのパンデミックにおいて、この能力は最大の価値を発揮しました。いま、政府と民間の両方を通じて、当社のお客様は支援を求めています。このようなお客様のニーズに応えるためには、これまでのソフトウェアテクノロジーにはなかったスピードでアプリケーションを構築する能力が必要です。そこで、ここからは当社のユースケース カタログ ARCHETYPES をご覧いただけます。ARCHETYPES によって、お客様はコーディング不要で FOUNDRY プラットフォーム内を柔軟に移動して、求める成果を出すとともにビジネスに直結したワークフローを提供できます。これらのすべては、数時間レベルで行えます。先ほど SUPPLY CHAIN CONTROL TOWER をお見せしましたが、ユースケース ライブラリとインストール ウィザードを使って自動で構築できます。

右側に、ここまでで使用したいいくつかのユースケースが表示されています。1つは、特にサプライチェーンにフォーカスしたものです。いったんこのユースケースを展開すれば、後はインストール ウィザードを通じて簡単にナビゲートできます。まず、展開する指定のワークフローについて、自動生成されたオブジェクトタイプが表示されます。これは、先ほどお見せした SOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATION に直接リンクされています。需要予測を、他のモデルや予測とともに関数として展開することができます。「注文をキャンセル」、「注文を処理」、「注文を部分的に処理」のように、ユーザーに求める指定のアクションを設定することができます。そして最後に、これらのインプットに基づいてさまざまなワークフローを展開できます。お見せした SUPPLY CHAIN CONTROL TOWER の例のように、ほんの数クリックで SUPPLY CHAIN CONTROL TOWER を構築するためのフレームワークを展開することができます。

Foundry Demo

先ほどお伝えしたように、パランティアは簡素化することでソリューションのスケールアップを実現するのではなく、複雑なプロセスを自動化することでこれを実現しています。これによって、当社のソリューションはお客様が求める柔軟性を維持したままで、短期間で高い価値を発揮することができるのです。

パンデミックにより世界が一変し、デジタルトランスフォーメーション(DX)へのニーズが飛躍的に高まった2020年、導入から短期間で高い価値を提供するパランティアの能力は、お客様にとって不可欠な能力となりました。

このSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATIONとARCHETYPESの組み合わせは、デジタルトランスフォーメーションから迅速に価値を引き出すお客様の能力を飛躍的に高めています。同時に、パランティアのソリューションはお客様が自社のソリューションを拡張するとともに独自のSAAS製品を構築するための強固な基盤としての役割も果たしています。データ統合の自社開発というハードルがなくなることによって、お客様は完全な新製品を構築して、ビジネスを行っている市場へ大規模に展開することができます。数多くの導入事例は、今も増え続けています。

本日ご覧いただいたように、FOUNDRYはより良い意思決定を実現するソフトウェアソリューションを提供しており、これによって企業はデータとモデルを、変革を実現する要素へと変えることができます。これまでにFOUNDRYが世界中の企業・組織で実現してきた成果から、これは特に明らかであると言えます。本日は、このようなお客様の事例をいくつかご紹介したいと思います。

パランティア パートナーの中には、以前はソフトウェアが大きな役割を担っていなかった場面でソフトウェアを活用している企業があります。例えばある法律事務所は、パランティアのテクノロジーを活用して制裁措置をスクリーニングするソリューションをクライアントに提供することで、人手による検証の必要性をなくしました。

金融サービス分野では、複数のお客様が自社ソリューションを拡張して、より顧客の現実的なニーズにマッチしたカスタマイズソリューションを提供しています。ある銀行は現金管理の新機能を構築して顧客のERPシステムに直接統合することで、財務管理で広く見られる課題を解決しています。また、別の銀行はパランティアソリューションに投資することで、サプライチェーンの動的な変化への高い対応性を有する、優れた復元力の貿易金融ソリューションを構築しました。ある保険会社は、元受保険会社のリスクを管理するための共有基盤を提供しています。別の保険会社は、高齢者ケアの運用システムを日本全国に展開し、介護の人手不足という構造的な社会問題に対応しています。

Plant Argon Overview Distribution Network Properties

Network Explorer

Distribution Network

Materials Produced at Plant

TITLE	MATERIAL TYPE	SUPPLY CHAIN CONTACT
<input type="checkbox"/> Respirator Mask	Respiratory	Ryan Anderson
<input type="checkbox"/> Surgical Mask	Respiratory	Caleb Phillips
<input checked="" type="checkbox"/> Ventilator	Equipment	Donald Harris

Customers & Distribution Centers By City

City	Distribution Centers	Customers
Barentsburg	1	1
Ny-Alesund	1	2
Pittsburgh	1	0
Providence	1	0

Demand Alerts

Events: [Timeline view]

Time: Oct 11, Oct 18, Oct 25, November, Nov 08, Nov 15, Nov 22, Nov 29, Dec 06, Dec 13, Dec 20, Dec 27, Jan 03, Jan 1

Demands: Demand vs Production, Inventory, COGS

Charts: Demand vs Production

Supply Chain Control Tower V2

Map SHIFT ← → ADD Left Right Split section

Supply Chain Control Tower

Network Alerts Planning Material Order

On Time In Full (YTD) 92% ↑ 5 pts vs. last year (87%)	Monthly Sales \$108,240 ↑ 104% vs. last year	Customers 24 ▲ Active 73%	Distribution Centers 10 Across 9 countries	Plants 15 Across 8 countries	Suppliers 32 Across 31 countries
--	---	--	---	---	---

Map 1

Widget setup Metadata Display

Map Style Config

Map Style Theme (Use an 'Internal' Style for secure networks that cannot proxy Mapbox. See docs for setup instructions.)

Mapbox Internal

Map Theme: DARK

Leaflet Fallback Map Style (optional override used if browser does not support WebGL - format should be 'username/styleid')

Map Viewport Configuration

Zoom to Fit Initial Viewport

Max Zoom to Fit Level: 13

LEGEND CONFIGURATION

Legend Position: BOTTOM_RIGHT

Legend Orientation: HORIZONTAL

Unused widgets: (x) Variables (102)

Foundry Demo

製造業では、多くの企業が横のつながりがなくサイロ化している環境を解消して、コラボレーションをベースにしたバリューチェーンの効率向上を実現しています。自動車業界では、複数のOEM企業がパラソリューションをサプライヤーに展開して、シームレスな品質検査とサプライチェーンの調整を実現しています。機能性材料分野では、複数のメーカーが半導体メーカーとのコラボレーションを実現しています。

前回の投資家コールでもお話ししましたが、当社のチャネルパートナーはパラソリューションを使って自社独自の市場展開プログラムを策定し、このソリューションを通じて自社の経験とノウハウをスケールアップしています。ある経営コンサルティング会社は、ドイツ国内の幅広い業種向けに、運転資本削減ソリューションを提供しています。これによって同社は、ビジネスに対する自社ならではの知見を、ソフトウェアを通じて初めて大規模に提供することが可能になりました。SDDIとFOUNDRY ONTOLOGYを導入した別の経営コンサルティング企業は、デジタルトランスフォーメーションを進める中で、デューデリジェンスフェーズとM&A後の両方を通じて、M&A活動全体のスピードアップを実現しています。SI(システムインテグレーター)各社は、SAP移行モジュールを製品化することで、自社ソリューションの堅牢性を高めると同時に価値を提供するまでの期間を短縮しています。

どのユースケースも、パラソリューションの活用パターンは同じです——異種データの統合を自動化するソリューションによって自社特有の能力を最大活用することで、持続可能な競合優位性を確立しています。

SECTION

Foundry Roadmap

SPEAKER

Bianca Rahill-Marier,
Head of Foundry
Product

来年にむけて、当社は世界中でFOUNDRYの影響力を高めるために多くの投資をしています。この影響を3つの側面で考えてみましょう。

まず、ユースケースのカatalogとモジュール式の導入オプションを通じてより多くのお客様にサービスを提供すること。第二に、FOUNDRYが企業内および企業間で行われるすべての重要な決定に関わること。これは、FOUNDRYを必要とするすべてのユーザーの手に渡し、ユーザーを互いに結び付けるということです。私たちは、モバイル製品を通じてFOUNDRYをオペレーションの最先端に据え、組織間の円滑なコラボレーションを可能にして、進行中のパンデミックや気候変動など、実際には単独では解決できない困難な問題を解決したいと考えます。第三に、AIの適用法を迅速に革新することにより、FOUNDRYの独自の価値を高めます。最高のデータとシミュレーションを活用して提供した情報を、すべての決定に役立たせることを目指します。これにより、ユーザーは、複雑な接続システム内で、どのように行動すればどのような結果が得られるか、あらかじめ完全に把握できます。

お客様のミッションは、デジタルトランスフォーメーション(DX)の間も止まりません。先ほどシャイアムがお伝えしたように、FOUNDRYが既存のデジタル環境内で迅速に役立てるように、私たちはモジュール化に多くを投資しています。

お客様によっては、これは、FOUNDRYのユースケースカatalogから始めると、早く課題に対処できることになります。ここでの私たちのアプローチは、見栄えの良いアプリケーションのセットよりもはるかに奥が深いのです。例えば、私は炭素会計および管理ソリューションを提供していることを心から嬉しく思っています。二酸化炭素排出量を削減するための最も難しい問題の1つは、深いデータ基盤を構築し、それを詳細なレベルで理解することです。企業は、グローバルな業務(原材料、製造、物流、輸送)からの詳細データを統合し、それらすべてを炭素換算して、その炭素コストを事業全体のワークフローに組み込む必要があります。そこから、「本船をどのくらいの速度で航行させるのか」といった日常的な小さな意思決定から、「より燃料効率の高い本船に置き換えるためにどの本船を優先すべきか」などの長期的な意思決定まで、すべての影響を評価できます。FOUNDRYのソリューションは、まずこの複雑さを解決し、知識資産を構築し、そこから特定のワークフローとアプリケーションを完全にお客様に合わせてカスタマイズします。

Foundry Roadmap

実際のところ、これはほんの一例です。業界のリーダーが独自の知識をコード化して、企業や業界全体の変革を加速できる市場を作り出す可能性があります。先ほどジョン(ディファルヴィオ)がお伝えしたように、法律事務所や銀行など、従来はテクノロジー企業ではない企業も、FOUNDRYを活用してソフトウェアソリューションを提供しています。

FOUNDRYと他のデジタルプラットフォームとの相互運用性ではモジュール性が最重要です。例えば、パランティアはパートナーとのコラボレーションを通じて、サードパーティインフラストラクチャおよびデータ管理ツールにONTOLOGYと運用プラットフォームを組み合わせた共同ソリューションを提供することで、ビジネスの意思決定を支援しています。また、パランティアのデータプラットフォームとサードパーティ/カスタムアプリケーションプラットフォームを併用しているお客様もいます。

過去数年間で、FOUNDRYは、データエンジニアのオフィスから始めて、運用範囲を考えられる限界にまで拡大してきました。最終組立ラインの製造現場から、グローバルインフラストラクチャにサービスを提供する保守用トラック、軍事基地に至るまで各方面に渡ります。

今後のモバイル製品では、デスクトップに使用されているのと同じポイント・アンド・クリックツールを使用して、モバイル専用のアプリケーションを構築、管理、および展開できます。例えば、保守エンジニアは、データソースを利用したトリアーザアプリケーションと、オンラインと同じように強力なアプリケーションとを使用して、電話を使って日常業務をガイドできます。そこから、現場で保守の問題を調査し、アプリを使用して移動中にすばやく取得した追加データを、同僚が利用できます。

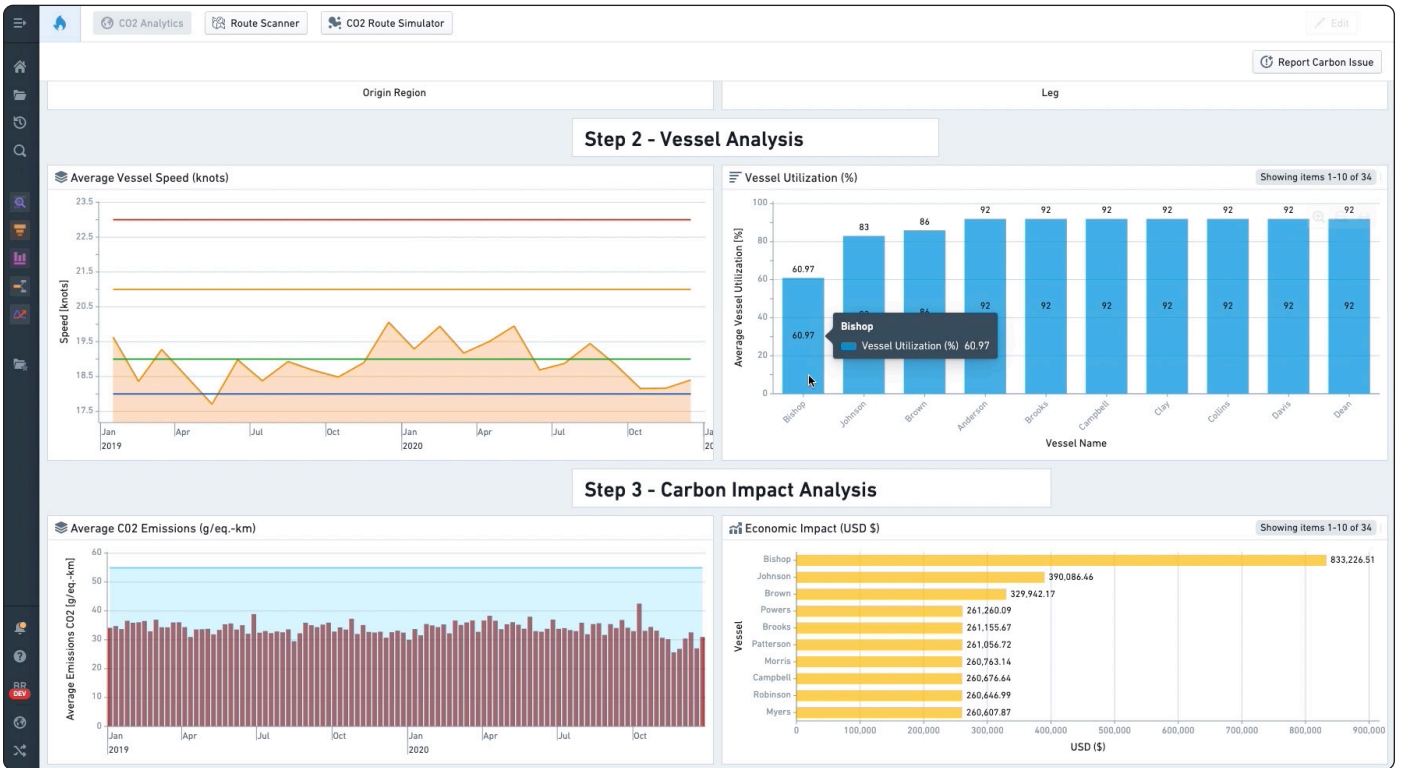
Foundry Roadmap

より多くのユーザーへのリーチよりもさらに重要なのは、ユーザー同士を結びつけることです。多くの企業が、例えば病院と医療機関、サプライヤーとメーカーなど、かつてない速度でコラボレーションを実現したいと考えています。FOUNDRYでは、企業間で作業している場合でも、社内で作業している場合でも、これを基本的に同じ問題として扱います。実際のところ、各業界は横の連携がないサイロ化した組織が大規模になったもので、これにいくつか追加の制約があるだけです。このような理由から、FOUNDRYのアプローチは非常にユニークであり、共有フォルダやチャットなどの表面レベルのコラボレーションツールと比較することはできません。コラボレーションよりもさらに進んだ共同作業と言えます。それが機能する方法として、FOUNDRYがデータソースレベルで詳細なセキュリティ制御を設定し、エンゲージメントのパラメータとして共有の運用言語 (ONTOLOGY) を提供します。これらのパラメータは、すべての下流のビジネスツールに円滑に流れ、ユーザーは目前の問題に集中できるようになり、FOUNDRY内で1つのチームとして効果的に機能します。

これと同じくらい重要な点は、セキュリティの方針は絶えず変化しているため、システムは動的であるということです。例えばサプライヤーとメーカー間の継続的なコラボレーションには、共有のスペースを使用できます。または、初めてコラボレーションする企業の間で、厳格なプライバシー要件を満たし、時間制限がある目的特化型の共有スペースにすることも可能です。

人工知能 (AI) は、お客様にとって今後伸びる投資分野です。AIにより、ますます多くのセンサーとコンピュータ画像データが蓄積されます。しかし、これらのデータを解釈するモデルを、理論に過ぎない科学プロジェクトではなく、実際に運用できるようにすると、大きな障壁に直面します。FOUNDRYのAIアプローチでは、モデル開発を運用上の問題に緊密に結び付けて、これらの障害に具体的に対処します。データサイエンティスト向けの別のコードノートブックソリューションやモデリングライブラリではなく、企業のすべてのモデル用のDEVOPSを構築します。このようにして、単なるアイデアを実際の応用へと移行させていきます。

本日はすべてのステップの詳細まで入ることはできませんが、1つの例としてモデルトレーニングとモニタリングをご紹介しますと思います。



Workshop > Mobile Module

File Help

Settings Save View Share

Pages & layers | MAP | MOVE | ADD | Above | Below | Split section

Page: Default

Page: COMPONENTS

Header

Body

TABBED

PROVIDERS

Object list 1

MAP

Map 1

Map 1

Data Layer Configuration 1

Object Set to Map

Object list 1 Active object

Current value 1 Pharma - Providers

Layer Configs

Point Cluster Choropleth Line Segment

Geohash Property

Select an object type...

Search: provi

- Provider Metrics Category
- Pharma - Providers
- Provider
- Interactions
- Provider Group
- Pharma - Payments
- Provider Group Yearly Metrics

standard icons | ontology icons

Color Configuration

Single Color | Color by Property Value

Color #137CBD

Foundry Roadmap

ある通信企業のアナリストが、衛星画像を使用して、不具合を起こしているインフラストラクチャを特定するモデルを構築するとします。彼女は、そのモデルがすべての不具合に同じように機能するかどうかを把握することが重要であることに気がきます。一部の不具合には緊急の修理が必要であるため、ビジネスアプリケーションでは、モデルのパフォーマンスがほんの少し低下するだけでも深刻な懸念事項となります。FOUNDRYの直感的なポイント・アンド・クリック体験では、これらの重要と考えられるデータサブセットでのモデルパフォーマンスを簡単に調べることができ、エンドユーザーが下流で見るのと同様のオペレーショナルサンドボックスで結果を表示することができます。これはモデルを実際を使用する上では重要なのですが、従来のAIモデル開発では失われることがよくあります。FOUNDRYは、モデルがどのように機能するかを調査・予測するための関連コンテキストを、ONTOLOGYを通じて提供します。そして重要なことは、長期的には内蔵のモニタリングと再トレーニングにより、AIプロジェクトは確実に進化するということです。

モデルを有効にするもう1つの重要な部分は、FOUNDRYのSIMULATION ENGINEです。これは、少し前にジョンのデモでご紹介しました。SIMULATION ENGINEは、ONTOLOGYを介してモデルを相互に接続し、ユーザーがチェーンモデルに関して「WHAT IF」の質問をし、行動の影響をあらかじめ把握するというかつてない機能を実現しています。2021年は、このエンジンを誰でも使えるようにすることを目標に、開発をさらに一歩進めます。サプライチェーンの例では、いくつかのシナリオを人手によって比較する代わりに、収益を最適化する価格を簡単に見つけることができます。

これは簡単に聞こえるかもしれませんが、実際には多くのことが裏で起こっています。最適化の際、数千のシナリオを評価しますが、各シナリオは考えられる一連のアクションを表しています。各シナリオ内で、シミュレーションはいくつかのモデルをチェーンのように結び付けます。最後に、SIMULATION ENGINEはシナリオのランク付けリストを示してくれるので、オペレーターは、各シナリオを比較して、実行するアクションを最終的に決定することができます。

Modeling objectives > AI Training > Identify damaged infrastructure through satellite imagery

Model training

Data Monitor experiments Hyperparameters Retrain on new data

Training logs Running Stop Stop and save Persist

```

Epoch 2/12 6000/6000 [=====] - 152s 1ms/step - loss 1.6234 - acc: 0.1997
Epoch 3/12 6000/6000 [=====] - 131s 2ms/step - loss 1.3212 - acc: 0.2111
Epoch 4/12 6000/6000 [=====] - 150s 3ms/step - loss 0.8307 - acc: 0.4221
Epoch 5/12 6000/6000 [=====] - 122s 5ms/step - loss 0.2931 - acc: 0.5219
Epoch 6/12 6000/6000 [=====] - 152s 1ms/step - loss 0.2012 - acc: 0.8211
Epoch 7/12 6000/6000 [=====] - 155s 2ms/step - loss 0.1246 - acc: 0.9020
Epoch 8/12 6000/6000 [=====] - 157s 2ms/step - loss 0.1222 - acc: 0.9194
2452/6000 [=====] - Running...
  
```

Training details

Status: Running
 Elapsed time: 3 min 32 seconds
 Devices: NVIDIA Tesla V100

Configuration files

- hyperparameters.json
- configuration.json

Ontology API [See example object](#)

INPUTS (2)

- Equipment repair ticket: 2 properties
- Satellite site image
- Equipment coordinates

OUTPUT (1)

- Equipment repair ticket: 1 property
- Damage type

Training metrics Comparing run1, run2, and run3 (current) [Clear](#)

Loss

Accuracy

Experiments Compare selected experiments

NAME	COMPLETED	PROCESSING SPEED	PRUNING	VIEW METRICS
run1	Jan 4, 2021 9:37am	231 samples / second	✓	<input checked="" type="checkbox"/>
run2	Jan 4, 2021 11:21am	125 samples / second	None	<input checked="" type="checkbox"/>

Modeling objectives > AI Training > Identify damaged infrastructure through satellite imagery

Evaluation

Metrics Operational testing Save and release model

Select test object set: Aug-Dec 2020 equipment repair tickets 628 objects

Experiment: run2 Compare multiple

Analyze tickets 10

False positives False negatives True positives True negatives Suggested clusters Configure displayed properties

PROPERTIES 10 objects

Damage type

- Wind: 4
- Maintenance: 4
- Fire: 1
- Flooding: 1

Terrain

- Mountain: 22
- Coastal: 10
- Desert: 5
- Suburban: 3

Last maintained

- 6+ yr: 3
- 5-6yr: 3
- 2-3 yr: 3
- <1 yr: 1

State

- TX: 1
- CA: 1
- NH: 1
- NY: 1

Damage Maintenance

Damage Wind

Damage Fire

Damage Flooding

Damage Maintenance

Damage Maintenance

Damage Wind

Damage Wind

Damage Wind

PREVIEW FULL TICKET < 2/10 >

Equipment repair ticket
Ticket #126234

Damage type: Wind

Terrain: Coastal

Last maintained: 1 yr 0 mo

State: LA

Equipment age: 2 yr 8 mo

Operator notes: Tree damage on equipment from overnight wind.

Date created: Aug 2, 2020

Ticket ID: 126234

Image:

Foundry Roadmap

これは実際には特定の最適化アルゴリズムに関するものではなく、FOUNDRYが最適化と実際の運用をどのように結び付けるかに関するものです。意思決定の部分を完全にサポートするソフトウェアの能力とモデル化されていない制約や情報を理解する人間の能力を組み合わせることにより、組織は変化する環境へ迅速に適応して最適化することができます。これは、例えば超過在庫を販売するための最適な価格を決定することや発電を最大化するための風力発電機の位置を決めること、また何年にもわたって収益を最大化する輸送ルートを計画するといったことまで、あらゆるシナリオにあてはまります。

この後のセッションでは、GOTHAMの最新の開発成果、ミッションクリティカルな状況への適用、さらに今後の方向性について説明します。

SECTION

Gotham Introduction

SPEAKER

Doug Philippone, Global Defense Lead

こんにちは。パランティアのグローバル防衛部門責任者、ダグ・フィリップポネです。この13年間、私はパランティアのグローバル防衛事業に専心の姿勢で取り組んできました。本日は、新しいGOTHAM 21リリースと、今後についてお話をしたいと思います。

GOTHAMは、戦場で兵士が命がけの意思決定を一瞬で下すのに役立ちます。私自身、戦場を体験しました。私は何年も戦場で戦ってきましたが、戦場では真実でタイムリーな情報に基づき、一瞬で決断を迫られるのです。これは極めて難しい決断です。世界中で対抗勢力が私たちの利益を脅かしている中、米国は焦点をテロ対策からニアピア（ほぼ互角同士）の戦いに移しました。全体主義体制から自由を勝ち取るためには、極めて高い犠牲を払わないといけません。では、GOTHAMの最新リリースで何が変わるのでしょうか。

ニアピア（ほぼ互角同士）の戦いでは、ナノ秒単位で意思決定を行わなければ、負けてしまいます。リアルタイムセンサーは、衛星から海まで、非常に多くのデータを生成します。新しい最先端のシステムも、総体的な意思決定を現実的に支援できるレベルで相互につながっておらず、高速性も備えていません。インターネットは常に機能するとは限りません。ジャミングが起こることもあれば、カバレッジがない場合もあります。しかし、システムは機能させなければなりません。

Gotham Introduction

制約付きの最適化は、以前は数学的概念でしたが、今では日常の現実になっています。世界中のすべての組織、特に軍隊は、より少ない労力でより多くのことを行おうとしています。そこで、古くからある「何ができるのか」という問いかけに対して、新しいGOTHAM LAUNCHは、指揮官が直接行う選択の影響だけでなく、その選択が及ぼす二次的、三次的な影響を迅速に検討して決断を支援します。これは従来の環境を根本から変革するテクノロジーであり、世界中のあらゆるビジネスに適用できます。

多くの点で、これは私たちの時代の最も重要な問題であり、私たちの国の繁栄にとって重要です。パランティアでは、最高のエンジニアがすべてのセンサー、データフィード、データベースを利用し、それらを統合して、各階層のリーダーに世界の全体像を提供し、一瞬の意思決定を最適化できるようにしています。これは非常に大きなことです。

この後、GOTHAMのリードプロダクトマネージャー、デザイナー、インプリメンターによるセッションをお届けしますが、その中で当社が世界中の紛争において兵士を支援してきた経験をご紹介します。私自身が従軍体験をしているので、良く知っています。戦闘支援を通じて、私たちは飛躍的な前進を遂げました。私たちは、複数のプラットフォームの最高の組み合わせにより、驚くべき相乗効果と世界への影響をもたらしました。

それでは、次のセッションをご覧ください。

SECTION

Gotham Demo

ますます複雑さと緊急性が求められるすべての状況において、PALANTIR GOTHAMは、意思決定の高速化と向上を実現します。敵対勢力は、政府を支配しようとしている分離主義派を支援してきました。状況は極めて不安定です。

司令官はTERESKIAの状況を警戒しています。諜報機関は、分離主義派が主要な敵対勢力と結託していると報告しています。国務省は、幹部以外の人員の即時避難を承認しました。

司令官は、避難作戦のため、3つの可能な行動方針を検討します。大使館の近くが物騒になったので、計画変更を余儀なくされました。FORCE EXPLORERは、対空システムを無効にする特殊作戦部隊を特定するのに役立ちます。

Gotham Demo

前方展開した部隊は、エッジノードを同期化して、派遣計画を更新し確定します。アルファ部隊が避難経路を検討している間、オメガ部隊は対空の脅威を無力化することを計画します。この部隊は、大使館の最新状況を把握する任務を偵察隊に課します:

- 近くの屋上から敵対行動が報告されました
- ビデオによって潜在的な脅威が特定できました
- 視界分析によると、敷地の北側に死角があります
- 三次元建物モデルで、敵の視点から見た侵入口が見えます

作戦 行動中は、世界中のユーザーがリアルタイムで作戦の状況を把握できます。

SECTION

Gotham Roadmap

SPEAKERS

Martin Manville,
Co-Head of
Gotham Product

Andy Elder,
Gotham Product
Design Lead

いまご覧いただいたデモの内容を、より詳しく見てみましょう。デモの設定は概念的なものです。対象となる問題自体は具体的で、これらの問題に対する対処能力をご覧いただきました。その多くは今日、現場で展開されています。このセッションでは、2021年のGOTHAMの方向性について、意思決定サイクルの3つのフェーズ(理解、決定、行動)にわたってどのように焦点を合わせていくのかという点を説明します。

意思決定サイクルの基本の第一は、状況の理解です。論理的には、データが多くなるほど洞察が深まり、より良い意思決定ができます。しかし、実際にはデータが増えたからといって、魔法のように意思決定の質が高まるわけではありません。

この10年間で、米国政府はかつてないほど大量のデータを生成するセンサーに数千億ドルを費やしてきました。しかし、目だけが良くなっても、良い頭脳がなければ、なんの役にも立ちません。GOTHAMはこれらのセンサーに「頭脳」を提供し、明確で現実的な世界を見せてくれます。

また、GOTHAMの頭脳は、敵が何をしているかに焦点を合わせているだけではありません。軍事データおよび個人データに直接接続することにより、GOTHAMは戦場の敵味方双方を把握できます。いわば戦闘空間全体を表すデジタルチェス盤です。

Global Overview
Search... Ctrl Space

Possible Coup in Tereskia

Created 3 days ago by CPT Daniels, Michael

Severity HIGH

Details

A potential coup is occurring in Tereskia; this is supported by several intelligence sources including OSINT, HUMINT and SIGINT. It is suspected that the Mariterian government is covertly supporting the coup.

Possible Situation Activity

Response Plans

Intelligence Details

Tereskian Coup Intel Dossier

Created 22 Jun 2021 09:22 by CPT Morrison

Last Edited 3 minutes ago

(U//EXMPL) A military-led coup in Tereskia is imminent based upon several US and FVEY intelligence sources. Tereskian military leaders are expected to storm the presidential palace within the coming days.

(MOCK TS//MNF) According to intel, the Mariterian Government is backing the suspected coup by providing support in the form of military equipment. At least three 8J26 BRT missile systems have been covertly transported to Zlarovo by Mariterian-backed forces.

(MOCK TS//MNF) The Mariterian government has been covertly backing separatist groups within Tereskia since at least 2015, as reported by HUMINT sources. The Mariterian Unit 22nd Novovsk Brigade has been providing logistical support and equipment.

22nd Novovsk Brigade

Role	Covert Separatist Support
Parent Org	GMA
Number of Troops	3,250
Headquarters	Ozyolitamak, Mariteria

Global Overview
Search... Ctrl Space

Threats to US Embassy in Zlarovo

Created 2 hours ago by CPT Harrison, Michelle

Severity CRITICAL

Details

Crowds and equipment have been reported gathering outside the US Embassy in Zlarovo. The ongoing coup in Tereskia is resulting in widespread violence. Several specific threats have been made against the embassy.

Intelligence

Possible Situation Activity

Response Plans

2 Phase Air Evacuation

Status Proposed by J3

Deploy Team from USS Edwardson

Status Proposed by J35 Requires 16 hrs

Evacuation via C-17 from Germany

Status Proposed by J35 Equipment Failure

View additional proposed plans...

Possible Anti-Aircraft Weapons Detected

Broad Area Search - Computer Vision Detection

Vsegda District, Zlarovo

BRN-290 Missile System

Range	370 miles
Weapon	2x TNP0-512 Missile

✔ Change Response Plan ✘ Reject Detection

Load Aircraft				
	Flight to Zlarovo			
		Establish Safehouse		

Gotham Roadmap

実際にはどのように見えるのでしょうか。デモの画像の1つを見てみましょう。このようなインターフェイスはスパイ映画でよく観るかも知れません。しかし、実際には陸海空のすべてを通じ、多くの兵士たちがPOWERPOINTのスライドを提供するだけといったような、古くて連携もしていないシステムに頼らざるを得ないのが現実です。

この1枚のガラスの中に、非常に複雑な問題が凝縮されています。通常であれば、同じ画面に表示されないデータセット全体が表示されます。しかし、データを1か所に表示することは、多くの課題の1つに過ぎません。適切なデータを適切なタイミングで適切なユーザーに提供することには技能が要求され、AIが重要な役割を果たします。

例えば、これは今日司令官に送られたインターフェイスです。画面には、偵察報告が表示されています。さまざまな偵察、戦況、機器の現況などもあります。

ロジスティクスおよび人員から情報まで、GOTHAMは、組織や場所を超えてこのように統一された表示をユーザーに提供します。これらの表示は、世界の現状を把握するための基盤です。

現状を把握したら、それに対して何をするのかを判断する必要があります。GOTHAMでは、意思決定者はデジタルチェス盤の設定といった無駄な時間を費やすことなく、勝つための分析と計画に集中できます。

すべての軍事作戦を構成するのは、一連の決断です。的確で適時の決断が及ぼす影響は甚大です。意思決定者は、GOTHAMにより、さまざまなアクションを吟味し、トレードオフを評価し、シナリオをモデル化して決断に活かします。

これらの意思決定は何もないところからは生まれません。これは一人でプレイするチェスではないのです。意思決定の質は、絶えず変化する環境に適応する能力に比例します。GOTHAMでは、世界中に分散しているユーザーが連携して、変化する敵への対抗策をリアルタイムに決定するモデルを共同で開発することができます。

重要なことは、意思決定自体が、データの1タイプとして取り込まれることです。そのデータを使用して、AIモデルを改良できます。これにより、企業はより良い意思決定ができるようになります。

Gotham Roadmap

従来、ほとんどの意思決定は電話や電子メールを介して行われているため、重要なデータはどこかに消えてしまいます。GOTHAMをインターフェイスとして使うと、データを分析して意思決定を行い、企業の知識基盤として活用できます。

例を見てみましょう。

このアクションでは、資産の割り当て、部隊配置、対空システムの無力化などの一連のサブアクションが提案されます。そして必要時間、必要物資と入手可能性が確認できます。この画像がリアルタイムであり、現状を反映している点が重要です。ユーザーは、正確な現状認識のもとに決断することが不可欠です。この例では、諜報部の警報により、パラメータが変更されました。これらの変更は、ハイライトされています。

いよいよ、行動する時が来ました。意思決定に基づいて行動するためには、一群の人員と機械装備が必要となります。

GOTHAMは、世界中のエッジである車両、航空機、および船舶に装備されて決断から行動への飛躍を支援します。巨大な海軍艦艇から野球ボールサイズの機内センサーまで、さまざまなサイズの機器で実行するため、GOTHAMはモジュール式のプラットフォームを提供します。インストールするとこれらのノードは同期を取り、ネットワーク障害に強い分散メッシュを形成します。そしてシステムがオフラインになったら、再ルーティングおよび調整を実行します。

エッジで実行することにより、GOTHAMはデータを分析し、知見を提供するまでの時間を数時間から数秒に短縮します。意思決定が行われると、現場のGOTHAMノードは軍事制御システムと通信して、迅速に計画を調整します。

GOTHAMは、ノード間およびエッジとクラウドの間でデータを共有することにより、リアルタイムで同期されるデータファブリックを全軍に提供します。このようにして、敵に一步先んじることを可能にします。

ユーザーの観点から見た場合、これまでに説明したすべての機能は、オペレーションセンターのデスクトップコンピュータ上でなくても使えます。エッジでも頑丈なラップトップや機上のディスプレイでこれらの機能が使えるので、戦場で現状を把握して決断する能力が向上します。



Gotham Roadmap

ここでは、前方に展開したラップトップにデータをブロードキャストするいくつかのリアルタイム ストリーミングセンサーを見ることができます。この場合、これらのデータフィードは、エッジのハードウェア上でもリアルタイムで実行されるAIモデルによって拡張されています。マップ上のこれらの各ドットは、これらのモデルの1つの出力を表しています。

自軍の位置をリアルタイムで確認できるため、部隊の安全が脅かされた場合に迅速に対応できます。相互間の連携がないサイロ化した環境を解消することにより、すべての個人が任務の成功に向けて役割を果たすことができます。

拡張性に優れたプラットフォームであるGOTHAMは、はじめはインテリジェンス (諜報支援) ツールとしてリリースされましたが、その後は意思決定サイクルのすべてのフェーズすなわち把握、決定、行動のすべてに関わるオペレーティング システムに成長しました。ここまで10年間の長い道りを歩んできましたが、基本理念は一貫しています。それは、「すべてはユーザーのために」ということです。パランティアが製造しているのはロボットではなくアイアンマンのスーツです。私たちが目標としているのは、兵士に取って代わるのではなく、兵士を保護し、増強することです。

SECTION

Apollo

SPEAKERS

Clark Minor,
Deployment
Infrastructure +
Automation Lead

Ali Monfre,
Deployment
Infrastructure +
Automation Lead

パランティアは、世界で最も重要な企業、組織、機関をサポートし、最も重要な問題を解決するソフトウェア プラットフォームを提供しています。

これらの問題は現実世界のもので、さまざまな形や規模で発生するだけでなく、お客様の運用環境でも発生します。現在、FOUNDRYとGOTHAMは、企業キャンパスや製造現場、研究所、工場、ホーム オフィスなど、非常に幅広く多様な環境で使用されています。

ただし、パランティアのソフトウェアはリモートのオンプレミス データセンターや戦闘地域、さらに潜水艦から航空機、ドローンまで、高い機密性が必要なネットワークもサポートしなければなりません。大多数のお客様がパブリック クラウド SAASを利用していますが、このような現実世界の制約により、多くのお客様がクラウドの利点を活かすことができていません。

APOLLOは、FOUNDRYとGOTHAMの両方を縁の下の力持ちとして支えている、第3のプラットフォームです。このプラットフォームによって、世界のどこであってもお客様に対応し、ミッションを強化し、最も重要な問題を解決できます。

APOLLOは、開発者の手元から最前線のお客様に至るまで、ソフトウェア プラットフォームに関する一連の懸案事項をエンドツーエンドに取り扱います。APOLLOの中核となるのは、あらゆる環境で高度に拡張可能なエンドツーエンドのフレームワークです。標準化した新機能、セキュリティ アップデート、プラットフォーム構成のための自律型コントロール機能を提供します。

お客様の複雑な現実に対応できるように構築されているAPOLLOは、世界中のFOUNDRYとGOTHAMの機能を細部まで把握し、パランティア ソフトウェア全体が健全で最新である状態を確保します。このすべては、お客様に固有の要件を満たした上で実行します。複合的な成功基準を知らせる表示や、ロールバックへの完全な自律的アプローチなど、高度に洗練された方式を採用しています。プラットフォームの可観測性フレームワークは、同期と非同期テレメトリの両方を活用して、すべてのソフトウェアのライフサイクル全体を個々にモニタリングします。

この後詳細をご覧くださいですが、APOLLOのサポート範囲は、異種デバイスが混在し変化するネットワーク構成内のデバイスを含むエッジ デバイスの自動管理から機械学習モデルの完全なライフサイクル管理を含むスタック内のすべてのコンポーネントまで、従来のSAASをはるかに超えています。

Apollo

これまで、APOLLOは新規および既存のSAASビジネスをスピードアップする鍵としての役割を果たしています。今年は、これまで以上に多くのお客様との新規契約を実現しました。その多くは、新型コロナウイルスやその他の緊急かつ重大な問題が背景にあります。APOLLOでは、新しいお客様も数時間でSAASへのオンボードを完了できます。

新しいお客様へのサービス提供を簡素化するだけでなく、APOLLOでは既存のシステム環境全体へ新しい機能を自動的に展開できます。APOLLOは、パランティアプラットフォームの心臓部であり、24時間常にお客様へソフトウェアを提供しています。現在APOLLOは週に150,000を超えるアップグレードアクションを実行しています。これは、2020年第2四半期から300%の増加です。

自動化されているだけでなくインテリジェントなAPOLLOでは、開発者は高い信頼性を持って変更を行い、安定性を損なうことなくこれらの変更を提供することができます。またリリース チャンネル、ソーク時間、ブルー／グリーン デプロイメント、メンテナンス ウィンドウによって、高可用性を維持します。

パランティアは2013年からクラウドを提供していますが、SAASプラットフォームの大規模な導入が進んだのはここ数年のことです。それまで保守的な大手の企業・組織はSAASに限らずクラウド全般をかなり懐疑的に見ていましたが、その後このような評価は変化し、SAASプラットフォームの有用性をお客様に実際にお見せしたところ、積極的に採用していただけるようになりました。

2020年には、ほぼすべてのお客様がクラウドベースのSAASを選択しています。これには大手金融機関からユーティリティ企業、各国政府までが含まれ、規制が非常に厳しい業界もあります。SAASは、新型コロナウイルスへの対応作業を強化し、米国と英国を含め100社以上の民間企業と10の政府組織をサポートしています。また、パランティアのSAASは米国および他の国々の軍隊でも大規模に活用されています。

My Team > pd-platform-security

pd-platform-security
1 State installs 0 Failed canaries

On-call: Kevin Lowe

GitHub Pull Requests
Data updated midnight PST

COMPASS - 3.201.0
can create hidden project
@yini a day ago +14 -20

Searching by direct principalid role grants
@yifekh a day ago +18 -9

cleanup description store
@marayan a day ago +14 -42

Include request stacktrace in resource de...
@pkoenig 4 days ago +12 -7

MULTIPASS-GROUP-AUM - 2.82.0
Language Inclusivity Part 2 Attempt 2
@kchen 5 days ago +8 -29

COMPASS - 3.200.2
Revert [Refactor] Replace getDirectMarki...
@lyang 4 days ago +14 -23

COMPASS - 3.200.1
Fix latest schema version
@kchen 4 days ago +9 -2

COMPASS - 3.200.0
increase index version to 3
@yifekh 4 days ago +11 -4

[REFACTOR] Remove organization and proj...
@ranfira 5 days ago +127 -385

[Refactor] Replace getDirectMarkings in M...
@lyang 5 days ago +447 -316

Clean Up Tags and Collections Orgs
@lyang 6 days ago +37 -125

Migrate projects to have default fileyste...
@ranfira 6 days ago +134 -6

Installable to collector

Rollout Installs Owned monitors Followed monitors

1
Stale Installs

Installations that haven't upgraded within 5 days when a newer version is available are Stale. Resolve problems highlighted in red, or file tickets against the appropriate owners. Common problem environments get quarantined, and removed from your views, so that you always have power to resolve staleness!

Include Quarantined?

Package	Local Installs	Remote Installs	Blacklisted	Stale	Quarantined	Percentage
multipass / multipass (5 versions)	189	14 installs (3 versions)	1 blacklisted version	0	0	65.6%
multipass-group-aum / multipass-group-aum (3 versions)	6	2 installs (1 versions)	0	1 stale install	0	94.8%
gatekeeper / gatekeeper-ui (2 versions)	14	6 installs (1 versions)	0	0	0	100%
row-level-policy-service / granular-permissions-validation-maven-bundle (2 versions)	53	3 installs (1 versions)	0	0	0	100%
activity / activity (1 version)	77	4 installs (1 versions)	0	0	0	100%
beta / eulamanager (2 versions)	18	1 install (1 versions)	0	0	0	100%
compass / compass (2 versions)	73	5 installs (3 versions)	0	0	0	94.8%
row-level-policy-service / row-level-policy-service (2 versions)	52	3 installs (2 versions)	0	0	0	98.1%
twofamanager / twofamanager (2 versions)	35	None	0	0	0	None
provenance / provenance (2 versions)	10	4 installs (1 versions)	0	0	0	100%
compass / compass-blobster (1 version)	74	4 installs (2 versions)	0	0	0	96.1%

All deployments

Installs Suppressions 3 Invalid installs 4 Monitors 4 Plans Events

Showing 8 events over 28 minutes starting from 5 hours ago

Event Time Range: 2020/04/27 3:06 AM - 2020/04/27 3:37 AM

Clear filters

CATEGORY: PLAN (10), ADJUDICATION (5), MONITOR (3), SUPPRESSION (2)

SEVERITY: INFO (10), SUCCESS (5), WARNING (4), ERROR (1)

INSTALLATION: notifications (8), artifacts (6)

Group by: Category, Severity, Installation

HAPPENED	INSTALLATIONS	NAME	PAYLOAD
4hrs 40mins ago	foundry / notifications	suppression started	Blue/Green-upgrade failed. Consult the 'History' tab under 'Upgr...
4hrs 41mins ago	foundry / notifications	finish blue green deploy	Finish blue green upgrade to 0.62.0 with status FAILED
4hrs 43mins ago	foundry / notifications	abort	
4hrs 57mins ago	foundry / notifications	Node Health Checks	Node health check thread_leak is failing. To resolve: - Determine...
5hrs 2mins ago	foundry / notifications	Apollo Upgrade Failed	Apollo has failed to upgrade your product
5hrs 4mins ago	foundry / notifications	start blue green deploy	Start blue green upgrade to 0.62.0
5hrs 8mins ago	foundry / notifications	start blue green deploy	Start blue green upgrade to 0.62.0
5hrs 8mins ago	foundry / notifications	suppression finished	Blue/Green-upgrade failed. Consult the 'History' tab under 'Upgr...

Apollo

APOLLOをベースに、パランティアのSAASはお客様の最も厳しい要件を満たすことができます。ネイティブのマルチホームアーキテクチャは、個別の物理サイト間で複製されるフォルトトレラントで高い復元力を有したプラットフォームを提供し、世界中の当社ネットワークにより、お客様の進化するデータ管理要件を確実に満たすことができます。また、プライベート接続、カスタム アクセスポイント、その他の非標準ネットワークを使用するお客様向けに、さまざまな接続オプションを提供しています。さらに、変化の激しいワークロードに適応し、大量のデータを円滑に処理する自動スケーリング インフラストラクチャがすべてを支えているため、面倒でエラーが発生しやすい能力計画の負荷が排除されます。これにより、最も保守的なお客様でも、クラウドでSAASを利用するようになりました。これには初めてクラウドを導入したお客様も数多く含まれています。

APOLLOの柔軟性により、パランティアSAASプラットフォームは、今日の世界で最も高いリスク回避性が求められる、最もミッション クリティカルなシステム要件をサポートします。これらのシステムの例がこちらです。これらのシステムでは、最新のテクノロジーと、ダウンタイムのリスク回避が必須要件です。APOLLOはこれらの要件をすべて満たします。

パランティアのSAASは、米国防省によってミッション クリティカルな国家安全保障システムに使用することが許可されています。この認定は非機密扱いデータでは最も厳しいもので、この認定を受けているSAASシステムは5つ程度しかありません。当社は、SAASの効率性と安定性、また最高峰のセキュリティが、私たちの最優先事項であることを保証することにより、世界で最も重要な機関を引き続きサポートすることにコミットしています。

特定のインフラストラクチャに依存しないAPOLLOは、クラウド ベンダーによる囲い込みからお客様を解放します。APOLLOは、複数のクラウド プロバイダーにまたがるクリティカルなワークロードをサポートします。また、APOLLOによってAWSやAZUREなどの世界中で広く使われている大手プロバイダーの範囲を超えてSAASを活用し、将来クラウド ベンダーが複数に分裂するような事態になっても、一貫してサービスを提供し続けることができます。例えばパランティアは、欧州向けの共通データインフラストラクチャを構築するために最近発表されたプロジェクト「GAIAX」の最初のメンバーの1社です。

Apollo

急速に変化している環境の中、パランティアはさらに一步先を進んでいます。当社が取引している大規模企業・組織は、それぞれが異なっていますが、これからはマルチクラウドの時代であることを理解しています。そのため、必要に応じてインフラストラクチャプロバイダー間でワークロードをシフトする機能に積極的に投資しています。また、お客様がどこにいても、独自のストレージとコンピューティングをプラットフォームネイティブに導入できるようにする、完全なBYOエコシステムに向けて取り組んでいます。

APOLLOは、単なるマルチクラウドではなく、幅広い機密環境に対応するSAASでもあります。今日、機密ネットワーク上でのソフトウェア実行には、外部接続の欠如、追加のセキュリティとコンプライアンスの制約、DVDを物理的に使用してネットワーク間でデータを転送する必要性など、他にはない課題があります。

APOLLOは、あらゆる機密レベルで機能する柔軟性を備えています。現在APOLLOは非機密扱い、機密、極秘の環境で実行されており、パブリッククラウドと同じSAASプラットフォームをサポートしています。APOLLOにより、データ速度と配信を改善し、最新の機能をパブリッククラウドに提供するのと同様の速度で機密扱い環境に提供できます。また、重要な領域間共通のワークフローをサポートし、これらのまったく同じネットワーク間で重要なデータ資産を自動的に同期します。

パランティアは、機密性が求められる分野でSAASを提供することの意味を明確に定義しています。私たちは、低速で最小限のアップグレードしかなく、すぐに時代遅れになる静的なソフトウェアの世界から、極秘情報を扱う分野でもSAASのメリットを実現できる世界へと移行しています。米国防総省のインパクトレベル6で最初に認可されたSAASになることで、当社はこのポジションを確固たるものにします。この実績により、機密ネットワークの分野でもさらに迅速に拡張していくことが可能になります。

APOLLOは、例えば紛争地帯、遠隔地の砂漠、海上といったSAASがこれまでになかった場所や困難な物理的条件、また遅延／切断、断続的、低帯域幅といった環境にプラットフォームをもたらします。また、例えばネットワークケーブルがない場所、環境の変化が激しく厳しい環境(軍用車両、潜水艦、ダウンレンジデータセンターなど)もサポートします。

Apollo

これらはすべて、従来であればカスタム構築した静的なシステムにしかアクセスできなかった場所です。しかし、通常の商業分野に提供しているものと同じ強力なソフトウェアをこれらの困難な環境にも導入し、最先端で常に最新のプラットフォームを提供することで、当社は従来の環境を根本から変革しています。

APOLLOによって、私たちはSAASと同様の環境を維持しながらこれを実現しました。APOLLOは、最も複雑なネットワーク構成もサポートしているので、お客様はかつてないスケーラビリティを実現できます。NEXUS PEERINGなどのテクノロジーと組み合わせることで、APOLLOは、米国防総省のグローバルメッシュネットワークを強化し、あらゆる形状と規模の固定、戦術、モバイルの前方展開ノードを実行します。そしてAPOLLOでは、非常に少ない人数でこれを行うことが可能です。構築に非常に時間がかかり、完了した時にはすでに時代遅れになっていたようなプロジェクトなど、以前であれば複雑なカスタム作業のために実行不可能だったプロジェクトも、今はAPOLLOによって実現することが可能になります。

APOLLOは、ノードとエッジの動的な機能に対する見方にも革命をもたらしています。今日、ほとんどの人はエッジを固定されたサイト、固定された構成、限られたフォームファクタ、限られた特化機能しかない一連の静的な環境として捉えています。このような環境に対し、APOLLOは物理環境の避けられない変化に適応できるようにすることで、エッジを柔軟で運用可能な環境に変えます。APOLLOは接続環境の変化、規模の変化、ノードの喪失、ネットワークの再パーティション化もサポートしています。シームレスな適応能力を備えたAPOLLOによって、自律走行車から高耐久性のモバイルデータセンターまで、多種多様なフォームファクタでSAASを最大活用することが可能になります。

ただし、APOLLOの能力は単なるインフラストラクチャ管理に止まりません。先程述べたように、開発者から最前線のお客様に至るまで、プラットフォームのあらゆる部分を管理することが可能です。SOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATIONSをサポートしているAPOLLOは、カスタマイズ不要ですぐに使い始めることができ、あらゆるタイプのデータソースを利用することが可能な、常に最新状態のツール群を提供します。

Apollo

AIや機械学習モデルのリリースとテストを簡素化するモデル管理から、異常検出や大規模センサーデータのワークフローのアルゴリズムの更新まで、APOLLOはパランティアのプラットフォーム内で進化するワークフローもサポートしています。これにより、成長し続ける開発者コミュニティは、お客様やサードパーティパートナーが構築したアプリケーションをパランティアプラットフォーム上でサポートすることが可能になります。APOLLOはパランティアのビジネスにも革命をもたらしました。当初、私たちは自社のプラットフォームを強化するためにAPOLLOを構築しましたが、最近ではAPOLLOを自分たちのプラットフォームに使用できないかという問い合わせをお客様からいただくようになりました。現在、私たちはその可能性を検討しているところです。

APOLLOにより、私たちは市場におけるポジションを劇的に拡大することができました。提供しているSAASの効率がいっそう高まっただけでなく、これまでSAASを導入できなかったお客様や新しい市場にも展開することが可能になりました。場所に関係なくお客様とつながり、以前であれば不可能であった高い水準で、お客様のニーズを満たすソフトウェアを提供し続けることができます。今後はこれらの機能をさらに広げ、サービス提供が困難な環境やワークフロー、機密SAAS、エッジにおける作戦行動などをサポートできるように、APOLLOの能力をさらに強化することを楽しみにしています。APOLLOを次のレベルに引き上げます。

APOLLOにより、他の誰もなしえないスケジュールと予算、大規模で持続可能な方法によって、世界で最も困難な問題を解決することが可能になります。

SECTION

Conclusion

SPEAKER

Shyam Sankar,
Chief Operating Officer

ここまでご覧いただいたように、私たちはまだ入口に立ったばかりです。本日のセッションで、パランティアがさまざまな独自機能に多額の投資をすることで絶え間なくソリューションの差別化を進めていることをお分かりいただけたと思います。しかし、私たちが行っているのはそれだけではありません — ローコードのオペレーショナル アプリやデジタルツイン、AI対応のミッション コマンドなど、パランティアはお客様の差別化も実現しています。スピードに対するパランティアの投資の成果であるSOFTWARE-DEFINED DATA INTEGRATIONSとARCHETYPESは、導入したソリューションが価値を発揮するまでの期間を飛躍的に短縮します。またデリバリー インフラストラクチャであるAPOLLOやさまざまなモジュールに投資することで、お客様がどこにいるのに関係なくサービスを提供するとともにお客様がこれまでに投資してきた環境との統合を実現し、チャネル パートナーによるパランティア製品の販売を支援することで、かつてどのSAASも実現したことがない、最新鋭のSAASと同様の体験を提供しています。

Conclusion

これまで15年間にわたり、私たちは数多くの機能を開発して提供してきましたが、これからも進歩のペースを速めていながら、これらの機能をより深化させていきます。先程DR. KARPが言ったように、私たちは世界が必要としている製品、お客様が必要としている製品を構築しています — どれほど必要としているのかがまだ完全に明らかになっていない段階のものでさえも —。

10年前に行った基礎部分への投資のお陰で、パランティアは新型コロナウイルスへの準備を整えることができたとともに、世界35か国の100を超える商業機関と10か国の政府がこの危機に対応することを有意義に支援することができました。同じように、今日行っている投資、実行しているロードマップによって、今後現れる機会をしっかりとつかむとともに、将来起こるかも知れない不測の事態へ適切に対応することが可能になります。

Disclaimer

This presentation and the accompanying oral commentary include discussion of Palantir products, features and capabilities, including recent updates to our products, as well as potential product direction. They are intended for information purposes only and shall not be deemed to be incorporated into any contract or agreement and do not constitute a guarantee or warranty of any kind. They are not a commitment to deliver any material, code, or functionality, and should not be relied upon in making procurement, purchasing or investment decisions. The development, release, and timing of any features, capability, or functionality mentioned herein remains at our sole discretion.

This presentation and the accompanying oral commentary contain “forward-looking” statements within the meaning of the federal securities laws, and these statements involve substantial risks and uncertainties. All statements other than statements of historical fact could be deemed forward-looking, including, but not limited to, expectations of future operating results or financial performance, market size and growth opportunities, plans for future operations, competitive position, technological capabilities, and strategic relationships, as well as assumptions relating to the foregoing. Forward-looking statements are inherently subject to risks and uncertainties, some of which cannot be predicted or quantified. In some cases, you can identify forward-looking statements by terminology such as “guidance,” “expect,” “anticipate,” “should,” “believe,” “hope,” “target,” “project,” “plan,” “goals,” “estimate,” “potential,” “predict,” “may,” “will,” “might,” “could,” “intend,” “shall,” and variations of these terms or the negative of these terms and similar expressions. You should not put undue reliance on any forward-looking statements. Forward-looking statements should not be read as a guarantee of future performance or results and will not necessarily be accurate indications of the times at, or by, which such performance or results will be achieved, if at all.

Disclaimer

Forward-looking statements are subject to a number of risks and uncertainties, many of which involve factors or circumstances that are beyond our control. Our actual results could differ materially from those stated or implied in forward-looking statements due to a number of factors, including but not limited to risks detailed in our filings with the Securities and Exchange Commission (the “SEC”), including in our quarterly report on Form 10-Q for the quarter ended September 30, 2020 and other filings and reports that we may file from time to time with the SEC. You can locate these reports on our investor relations website (<https://investors.palantir.com/financials/sec-filings/>) or on the SEC website (<https://www.sec.gov>). If the risks or uncertainties ever materialize or the assumptions prove incorrect, our results may differ materially from those expressed or implied by such forward-looking statements. Except as required by law, we assume no obligation and do not intend to update these forward-looking statements or to conform these statements to actual results or to changes in our expectations.

This presentation contains statistical data, estimates and forecasts that are based on independent industry publications or other publicly available information, as well as other information based on our internal sources. This information involves many assumptions and limitations, and you are cautioned not to give undue weight to these estimates. We have not independently verified the accuracy or completeness of the data contained in these industry publications and other publicly available information. Accordingly, we make no representations as to the accuracy or completeness of that data nor do we undertake to update such data after the date of this presentation. All data shown in product demonstrations is notional or publicly available and any resemblance to actual persons, entities or events is purely coincidental and should not be inferred. Certain visualizations and capabilities shown in product demonstrations may rely on or reflect third party data sources that are not included as part of Palantir’s standard product offering.

Disclaimer

This presentation also contains links to publicly available websites, data, or other information. We have not independently verified the accuracy or completeness of such websites, data, or information and accordingly we make no representations as to their accuracy or completeness nor do we undertake to update such data or information after the date of this presentation. The inclusion of external links does not constitute endorsement by Palantir of the linked websites or the data or information contained therein.

By attending or receiving this presentation you acknowledge that you will be solely responsible for your own assessment of the market and our market position and that you will conduct your own analysis and be solely responsible for forming your own view of the potential future performance of our business.

Unless otherwise noted, all product, feature, or service names, logos, and trademarks, including without limitation Palantir and the Palantir logo are the intellectual property of Palantir and / or its affiliates in the United States and/or other jurisdictions. Any non-Palantir logos or trademarks included herein are the property of the owners thereof and are used for reference purposes only. Such use should not be construed as an endorsement of Palantir or the platforms and products of Palantir.

Copyright © 2021 Palantir Technologies Inc. and / or affiliates (“Palantir”). All rights reserved.